

Ⅶ ほ育施設

ほ育施設の重要性

ほ育施設は農場の牛群の中で最も弱い牛たちが飼われています。多くは旧施設を流用したり、空いている土地に建てざるをえなかったりと決して満足できる施設ばかりではありません。各施設の特徴をおさえて子牛にとって少しでも良い環境を作りましょう。

1 カーフハッチ

カーフハッチとは、子牛を個別に管理できる小屋のことです（図1）。子牛を個別に隔離して管理出来るため、病気の蔓延防止が可能です。また、換気がとても良好なため、子牛にとって最も良い環境の施設と言えます。

カーフハッチは、構造上大きく重たく、手作業による除ふんが基本となります。こまめな除ふんと敷料交換が重要です。



図1 カーフハッチの特徴

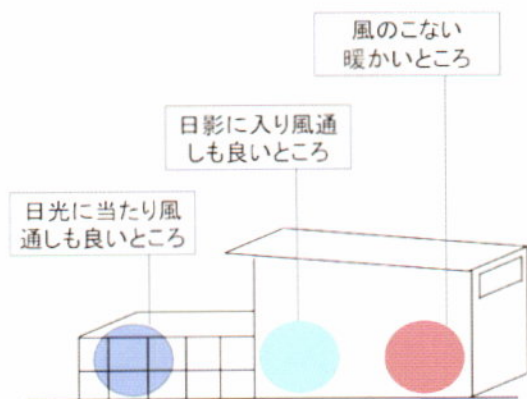


図2 子牛が自ら最適な場所を選ぶ



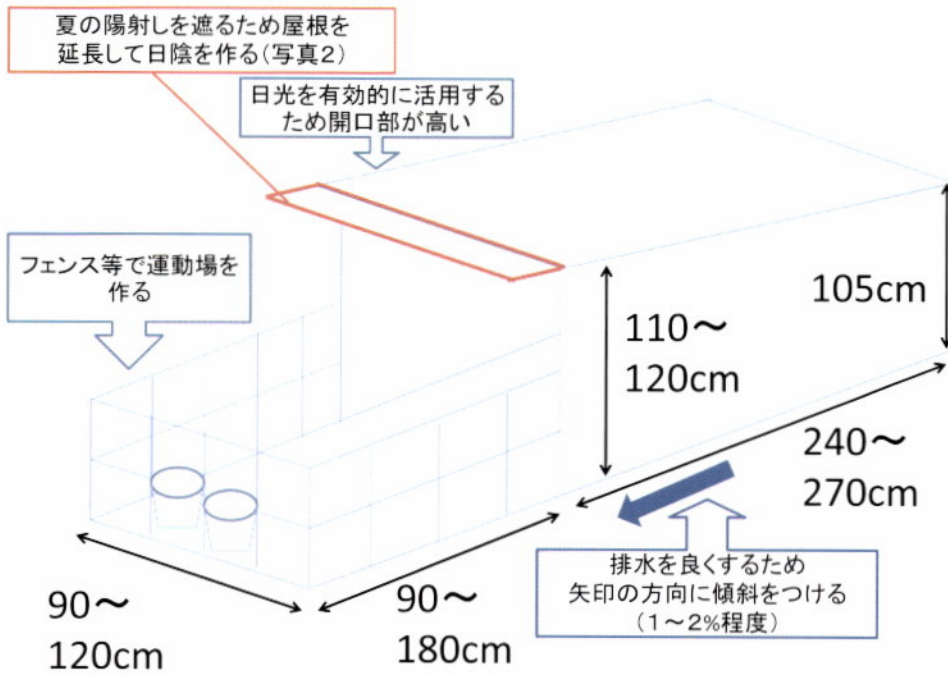


図3 カーフハッチの理想的な寸法と考え方(釧路農業改良普及センター中西部支所作成 農業経営技術資料ほ育・育成施設2008年を一部改変)



写真2 屋根を延長して日陰を作った事例



写真3 運動場の上にカバーをかけて日陰を作った事例



写真4 ビニールシートによる冬の寒さ対策事例



写真5 屋根の下にハッチを設置し作業性を良くした事例